

12月8日(火曜日)「初代教会の役職」

【新改訳 2017】

使徒 20・17-32

「あなたがたは自分自身と群れの全体とに気を配りなさい。聖霊は、神がご自身の血をもって買い取られた神の教会を牧させるために、あなたがたを群れの監督にお立てになったのです。」(28節)

これは、パウロがエペソの教会の長老たちを呼び集めて語った(別れの)あいさつの一部です。

教会には、長老たちが監督としての役割を託され、教会を牧するように神によって立てられたのだと言われています。それは、教会を荒らし回る者たちや内側から出てくる、曲がったことを言う者たちから、教会を守るためでした(29,30節)。また、執事という職務も確立しました(同6・1-7、ピリピ1・1など参照)。パウロはさらに、「使徒、預言者、伝道者、牧師、教師」もキリストご自身がお立てになられたと言っています(エペソ4・11ほか)。

今日の教会の制度の基本は聖書にあるのです。聖書によっ

て正しく理解され、みこころに沿って運用されることを祈らなければなりません。

～祈り～

主よ。教会の役職は、あなたがお立てになったものであると信じます。どうか、正しく理解され、用いられるようにお導きください。

【学びのために】

監督(長老)や執事などの資格については、1 テモテ 3 章やテトスなどの牧会書簡(牧会について教えられている三つの手紙)に詳述されています。